## 平成22年度事務事業評価結果(課•室)総括表

一般会計 会計区分

課·室名

人事企画課 (単位:千円)

		車	業区分				事務区分			財源内訳		汗動物料	51盆甲心箱	:##ht	を持つ4年間。	公郑 は	用作性15	<b>计单心</b> 新	ct 単化:	標2結果分類	評価に基づく今後の対応				성 IC	
		7	未色刀			同一 カルテ	字450区力			おかいまり		/D #01H18	神木刀規	/0.201	日1示44日本。	刀規以	(本)田禄川	加木刀規	从未担	添名帕木刀系		T 11111 1·	- <u>æ</u>	2 (-	7 12 07	λ1 I/O
事 業 名	福井元気宣言の位置付け	実行予算	補その金他	事業 開始 年度	経過 年数	内含れ事数	<b>法定受託事務</b>	平成 21年度 予算額	国庫	その他 特定 財源	一般	и п	ш м	Ι	пП	IV I	п	шІ	II	I III IV	拡 継充 続	整理統合	休止	終期の見直し	今後のその他	見直し額
人事給与事務費		0		昭和60年度	23	1	0	48,488	0	7,817	40,671		)								0					
表示的		0		昭和28年度	55	6	0	4,976	0	0	4,976		,						0		0					
R 職員特別研修(新制度の周知等)		0		昭和40年度	43	1	0	2,428	0	0	2,428	0									0					
自治研修所運営事業		0		平成20年度	2	1	0	49,809	0	12,921	36,888	0		0		C	)		0		0					
	4	1	0 0			0	4 0	105,701	0	20,738	84 963	2 2	0 0	1	0 0	0	1 0	0 0	2 (	0 0 0	1 2	0 0	0	0 0		

		ম	7 成	2 2	年	度	事務	事	業	きった	J .	ル	テ	会計区分		-般会計 寺別会計	(	
														Anen		E業会計	(	
						所	属	総務		部(庁	)	人	事企画	課(室)		人事		G
事 業	人事給与	事務費		含まれる	事業数	1		国庫		実行予	算ョ	<b>業</b>	昭和60年度				■自治	台事 務
福井新元気宣	『言における ┃ ロ 有 →ビジョン ┃	ſ				事区	業□□	県単		補 助	金月	見 始	経過年数	事業終了 予定年度	- 年度	事務区分		
位 置	付け ■無政策	` ſ				1   E	"   <sub>□</sub>	その他	.   _	その	他	F 度	23 年	了是干皮			□ 法定	受託事務
[事業目的] 職員の任月	月、給与、勤務条件、服務等につい	ハての計画は	るよび管理	を行う。														
[事業内容] ・職員情報シ	ンステム経費:行政情報ネットワ <b>-</b>	ークを活用し	ン、内部管:	理業務の全	庁的な省力	]化を図る。												
「予算額およひ	「指標の推移等]																()	単位:千円
<u> </u>	区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率											1 - 1 - 1 - 1
Ì	当初予算額の推移	54,718	41,147	100,155	21,523	48,488	41.3%					日捶枯	1、指標の積算	旧伽华				結果分類
2 )	月現計予算額の推移	54,718	53,474	99,523	30,249	48,488	4.7%					口惊胆	は、竹保の利息子の	<b>区沙寺</b>				和木刀規
<u> </u>	決算額の推移	54,515	53,318	99,394	30,086	48,488	4.8%											
活動	全部局の人事異動者数	998	1,092	1,113	1,075		2.6%											I
事業効果 指標	システム化された申請事務等	1	2	0	2	2	_	22年度:ノ	(事評価	システム	、福利厚	星生シス	ステム					
の推移 成果																		
指標																		
計画	の達成状況 [目標名]					年度惠	整備水準[			] /	整備目	標	年度〔			) =	(	
	区 分	平成22年	F度予算額			事業開始後	後の見直し状	<b></b>						特	記事	項		
予	算額 (単位:千円)		48, 488			報システム開発 携のためのシス					•17	年度~	・本庁各課に酉				進Gに集約	
	国 庫			·17年度 給- ·18年度 人	5構造改革に供 事委員会勧告に	#うシステム改作 に伴うシステム改作 理方法変更、育	多 收修(昇給•昇		422.7=	/ 3h/kz	-22	年度~	出先機関の給 ・給与事務担当					
財源内訳	その他特定財源		7, 817	•20年度 職員	員情報システム	≝ガ広を足、月 端末、サーバ等 合、子ども手当ま	<b>等機器更新入</b>	替	-	山以形								
	一般財源		40, 671	•22年度 人	■野価システム ■評価システム	、、福利厚生シス	ステムの機能が	自加等改修										
[事業の評価]																		
[子水•/川區]	[活動指標、成果指標に対する評価]		□ 拡	充		縮減	t 🗆	終期の見直し										
所属の 職員情報や人事管理の一元的管理のため、必要不可欠なシステムである。							評価に基	■総	続		床 止	: 0	完 了					
							づく今後	- 羽生	rt7C		rr II	.   "	元 ]					
方 針	[今後の事業展開に関する考え万、見直し内容]									_ I	廃 止	. 0	その他					

見 直 し 額

千 円

## 平成22年度事務事業カルテ

																会計区分		别会計 業会計	(	;	)
							所	属		総務		部 (庁)		人事	企画	課(室)		人事		G	
	業 名言における	県派遣研修 □ 有 →ビジョン [	修事業 		含まれる	事業数		業分	■	国庫県単	■	実行予算補 助 金	開		昭和28年度 経過年数	事業終了 予定年度	- 年度	事務区分	■自	治 事 務	
位 置	付け	■ 無 政 策〔				)	]			その他		その他	年	渂	55 年				□ 法	定受託事務	
[事業目的] 地方公務	員として幅	広い知識を修得させ、職	員の資質 <i>の</i>	)向上を図	<b>る</b> 。		,														
[事業内容]																					_
・国内大学 ・英語研修 ・中国語研	院研修派遣 生研修派遣 修生研修派 学支援制度	遣	<b>刂課程、研</b> ੰ	修専門課程	そのでは、	地域経営こ	コース)														
[予算額およ	び指標の推移	·····································																		(単位:千円)	)
	区	分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸	び率												
	当初予算	額の推移	6,202	7,431	6,232	3,919	4,976		1.9%				В	堙値	指標の積算	退加生				結果分類	
2	月現計予	・算額の推移	4,657	3,895	5,601	2,676	4,976	-	6.3%				П	ᆥᆔ	]日1ホワ1只开1	KIK! <del>VI</del>				心不力双	
	決 算 額	の推移	4,223	3,718	5,299	2,676		-	6.5%												
活	動派遣人数		4	5	5	4	3		1.7%											I	
事業効果 指	漂 うち語学	研修派遣人数	0	1	1	0	0		_												_
		支援制度基準到達人数	0	0	0	2			-												_
		了人数(支援事業)	5	2	2	13.3%												I	_		
計画	回の達成	状 況 [目標名]					年度	整備水準	E[			] / 整	備目標		年度〔			) =	[		)
	区	分	平成22年				事業開始很									特	記事コ	頁			
3	9 類額	(単位:千円)		4, 976	平成14年度·	国際交流短 国際青年の			国大学	院派遣研	多の隔:	年募集									
		国 庫			- 平成15年度•				際交流	短期研修	の再開	l									
財源内訳		その他特定財源			平成16年度・																
NI FAMILY		一 般 財 源		4 976	平成19年度・ 平成22年度・ 立つ38資格を	卓越職員支	援制度につい	ハエハて、語	学·気象	象予報士に	に加え、	職務に役									
「事業の評価	1																				
	[活動指標、	成果指標に対する評価]									+	- 45	<b>-</b>		44 TO B T L						_
	資格取得や個	修学により、職員の資質を研究	鑚している。	0						□ 拡	充	□ 縮	減		終期の見直し						
所属の								評価に	基	継	続	口 休	止	П	完 了						
								づく合		- 本	小儿	ц W	ш		76 J						
[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容]  方 針 高度で先進的な行政手法を習得させることを目的に、時代の進展に対応した研修内容の見直しを 行いながら、中長期的な人材育成の観点から、今後とも本事業を継続していく。									□ 整理	統合	□廃	止		その他							
						の見直しを	の対	応			_ ~			12							
									見 直 し	額				千 円							

## 平 成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

														会計区分	会計区分 口 特別会計 ( 口 企業会計 (					
						所	属	総務		部 (庁)		人	事企画	課(室)				G		
事 第	【 名   県職員特別	研修(新制度の周知等	等)	含まれる	事業数	1	_   □	国庫		実行予算	事	業	昭和40年度				■自	治事務		
福井新元気宣	宣言における □ 有 →ビジ	ョン [			)	事		県 単		補助金	<b>計</b>	始	経過年数	事業終了 予定年度	一 年度	事務区分				
位 置	付け ■ 無 政	策〔			1	F .	"   _	その他		そのも	也	度	43 年	了是干皮			□法	定受託事務		
						l:::::::::::			ı .		<u> </u>	<u> </u>	3	<b>.</b>	31		1			
職員に対	し、新たな制度等の行政を取	ひり巻く環境変化に	合わせた	研修を行う。																
[事業内容] ・県職員特別	別研修(新制度の周知等)																			
 [予算額およて	が指標の推移等]																	(単位:千円)		
L 7 71 HX 00 0 C	区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率											X		
	当初予算額の推移	13,866	12,222	2,716	2,388	2,428	-25.0%	i i			-	1+亜/法	化振の珪質:	+D +m &=				<b>針田八紫</b>		
2	月現計予算額の推移	12,000	9,512	1,934	2,347	2,428	-26.3%	i i			H	徐旭、	、指標の積算	恨拠寺			結果分類			
	決算額の推移	10,920	6,633	1,933	2,347	2,428	-29.6%	b												
活動	講座数	29	42				13.4%	ó										I		
事業効果 指標	<u> </u>						-													
の推移 成界																				
指標																				
計画	「の 達 成 状 況 □〔目標名	i)				年度整	備水準〔			] / 1	<b>Ě備目標</b>		年度〔			) =	[	)		
	区 分	平成22年月	度予算額			事業開始後	の見直し	犬況						特	記事	項				
予	· 算 額 (単位:千円)		2, 428	16年度 自治研	所内研修	<b>をから、従来</b> σ	方法にと	らわれない扱	本的な	見直しを			度から管理職員							
	国 庫			行った。(フレン 18年度・職員の							平成2	22年月	<b>度から一般職員</b>	員に対する人	、事評価の	勤勉手当反問	で実施	「る。		
財源内訳	その他特定財源			19年度・目標管				沙里杰明	* C 🕶 //	30720										
	一般財源		2, 428	20年度•研修6	の企画、実施	等についてア	ウトソーシ	ングを実施し	<b>ノた。</b>											
	Fix 771 MW		2, 120																	
[事業の評価]		=				1		1				1								
	[活動指標、成果指標に対する]		3 <del>4-</del> 11.	7				□拡	充	口縮	減		終期の見直し							
	行政を取り巻く環境変化に合わ	わせて特別に研修を実	き他してい	<b>১</b> .																
所属の							評価に基	■継	続	口体	止		完 了							
	[今後の事業展開に関する考え]	左 目直し内容]					づく今後													
方 針 目標管理、人事評価制度が適切に運用されるよう、職員への周知を進めていく。							の対応	□ 整理	<b>型統合</b>	□ 廃	止		その他							
				見直し	. 額				千 円											

## 平 成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

	·			·		-								·	■ 一般会会計区分 □ 特別会 □ 企業会			(		)				
						To a second				所 属		総務			部 (庁)		人事企画		課(室)				G	
事	業 名		自治研	开修所運	2営事業		含まれ	る事業数	1			玉	庫		実行予算	事	業	平成20年度				<b>■</b> É	治事務	
福井新元気	宣言における	□ 有 →	ビジョ:	ン「					)	事 業区 分		県	単		補助金	対開	始	経過年数	事業終了 予定年度	- 年度	事務区分			
位 置	付け	■無	政	策 r					1	E /J		その	他		その#	₫ 年	度	2 年	了人一区			□∄	定受託事務	
[事業目的]	**								ا د		*****										<u> </u>	4		
県・市町	職員に対し各	段階におい	て、地	也方行政	汝の知識・⋮	技能を付 <i>-</i>	ますると	ともに、高	高い政策立	案能力	を養い	、地方	公務員	<b>€</b> と1	しての知	口識・打	支能の	一層の向上	を図る。					
[事業内容] ・県職員研・市町村職・パワーア・特別専門・営業力向	員研修 ップ研修 研修																							
 [予算額および	び指標の推移等	<u> </u>																					(単位:千円	)
	区	分			18年度	19年度	20年度	21年度	[ 22年]	度 平均	伸び率													
当 初 予 算 額 の 推 移 50,000 50,000									00 49	,809	-0.1%					=	抽店	指標の積算	日伽学				結果分類	
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移 49,523 49,418									18 49	,809	-0.2%					E	1信他、	拍信の傾昇	<b>飞炒寺</b>				和未刀規	
	決算額(	り推移					49,52	3 49,41	18		-0.2%													
活動	講座開催回	数					2	7 4	40		16.0%												I	
事業効果 指標	票 県外専門講師	師割合			53%	53%	72	% 72	2%		11.9%												I	
の推移成り	講座受講人	数(公募型研	修分)				1,19	0 2,55	53		114.5%	パワー	アップ研	F修、	特別専門	研修、語	営業力	向上研修					I	
	講座定員充	足率(公募型	研修分)	)		81%	100	% 100	0%		8.1%	参加人	数/講原	座定!	員								I	
指相	アンケート					3.8	4.0	4.	.1		2.6%	研修受	講者アン	ンケー	-ト調査の	)平均評	価点						I	
計画	の達成状	況 [目	標名〕						左	年度整備水準〔      〕										[		)		
	区	分		3	平成22年原	度予算額			事業開	開始後の見	見直しお	<b></b>							特	記事	項			
財源内訳	3	単位:千円)	· 原			12, 921	21年度~ 21年度~	県・市町職員 長期的な観 3年間の長 営業力向上 人材育成基	!点から政策 期継続契約 :研修を開始	:立案能力  とした。 <del> </del>														
[事業の評価]																								
[手来の評価] [活動指標、成果指標に対する評価] 外部委託したことにより、県内外で活躍している民間企業の関係者や大学の研究者を講 招聘したり、委託先所属に所属している様々な分野の専属講師を活用して研修の目的に応 な研修が実施できた。									是適	#./- <del> </del>		拡発機能能		□ 縮 □ 4			終期の見直し							
所属の			<b>.</b>							高半10 	断に基		45年 北	96	1/r	. т		7G ]						
	[今後の事業月					. # II # 1 7 1					く今後	□ 整理統合	슼	□廃			その他							
方 針 行政を取り巻く環境は劇的に変動しており、政策や制度もそれに合わせて常に変動しているのような変動に俊敏に対応し、職員の能力向上に効果的・効率的な研修の実施に努めていく。営業力向上研修については、本県の魅力を国内外へ売り込む営業力を強化するため、実践的修を計画的に実施する。また、人材育成基本方針に基づき、職員の専門性を高めていくため、研修体制を強化してい								)ていく。 )、実践的な	のいる	対 応		正し 割					千 円							